



# 神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

## ◆七夕の日に映画『チルソクの夏』を◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、7月7日の七夕と言えば『湘南ひらつか七夕まつり』です。今年で71回目の開催になり、JR平塚駅前の商店街には色とりどりのくす玉や、90本余りの豪華けんらんな竹飾りなどが取り付けられ、その豪華な竹飾りなどを一目見ようと多くの人々が訪れていました。ちなみに、平塚市の発表によると、来場者数は115万人だったようです。

そんな七夕の日に、私は義理の兄であり、映画監督でもある故・佐々部清監督の熱烈なファンの方から声を掛けられまして、都内某所で行われた『チルソクの夏』の上映会に行ってきました。その場所には熱烈なファンの方々や佐々部の相棒だった方々など約10名の方が集まっていました。

映画『チルソクの夏』のことは以前にも話題にさせていただきましたが、山口県下関市と韓国・釜山が舞台の青春映画です。

かつて、日本と韓国の心理的・政治的距離が遠かった時代、この2つの国を結ぶものの一つとして、姉妹都市である下関と釜山とが年1回夏に開いていた「関釜陸上競技大会」がありました。この競技大会に参加した下関の4人の女子高校生の一年を、その一人に芽生えた淡い恋を軸に描いています。ちなみに、チルソクというのは韓国の七夕のことです。



そんな『チルソクの夏』の上映会が七夕の日の午後7時から開催され、思い出話にも花が咲きました。そして、そこに来てくれたプロデューサーの臼井さんが、当時のパンフレットを持ってきてくれてまして、それは上野樹里さん他6人のサインが入ったものでした。「ほしい方どうぞ」と持ってきてくれたのですが、(2枚目へ→)

(続き→) そこにいた他の人たちは、皆サイン入りのものを持っており、それを持っていないのが私だけで、「じゃあ米山さんが持っていきなよ」と言われ、それを頂戴することになりました。そして、そのパンフレット中に『制作日記』というページがあり、助監督の瀧本さんが書かれた内容を読んで、グッとくるものがありました。

2002年6月、日本中が日韓ワールドカップに熱狂している中、下関と釜山を舞台にした映画『チルソクの夏』は静かに動きだしたと始まります。

まずはオーディション。この映画の生命線はキャスティングだ。どれほど知名度があろうが、芝居が上手かろうが、陸上の出来ない子は選ぶつもりはないと監督は徹底的にこだわっている。陸上競技は全身を見せなければ表現できない。そこをごまかさないと撮れないような俳優は必要ないと。日本女子体育大学の協力で、陸上のオーディションを行い、その上で面接し芝居を見た。オーディションで100人以上会った中から、水谷妃里、上野樹里、桂亜沙美、三村恭代の4人が選ばれた。話をしても、芝居を見ても、4人はそれぞれ自然な輝きを放っている。まだ何色にも染まっていない透明感もある。4人は決まったと綴られています。

そうです。上野樹里さんもこの頃は、無名な俳優さんだったのです。この話は、佐々部監督からも直接聞いたことがあったので、作品へのこだわりはとても細部にわたっていると感じました。

また、上映会のときに臼井さんからこんなことも聞きました。その100人のオーディションには、選ばれなかったけれど、宮崎あおいさん、蒼井優さん、綾瀬はるかさんも受けに来ていたとのこと。それぞれ所属事務所から、これから売り出したい俳優さんとして猛プッシュがあったそうですが、この作品では陸上ができない子は選ぶつもりはないという監督の強いこだわりを感じるエピソードでした。

映画『チルソクの夏』は現在、動画配信サービス等でご覧いただくことができます。素晴らしい映画です。ぜひご覧になっていただければと思います。

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

## 【発行元】

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム

株式会社  
神奈中情報システム



大森



米山